

果樹カメムシ類の被害果が広域で発生しています！
果樹カメムシ類がみられた場合は速やかに防除を行いましょう！

1 作物名 りんご、なし

2 発生現況

- (1)りんごにおける7月下旬の巡回調査の結果、発生地点率及び被害果率は平年より高く、過去10か年で最も高かった。(図1)
- (2)なしにおける7月下旬の巡回調査の結果、発生地点率は平年よりやや高く、被害果率は平年並だった。(図2)
- (3)7月下旬(誘殺期間:7月中旬～7月下旬)のフェロモントラップ調査(地点数:4)で、チャバネアオカメムシ成虫(合計463頭)及びクサギカメムシ成虫(合計4頭)の誘殺が確認された。特にチャバネアオカメムシ成虫は、全地点で5月上旬から継続して誘殺が確認されており、亘理町を除く3地点で依然として増加傾向となっている。(図3)

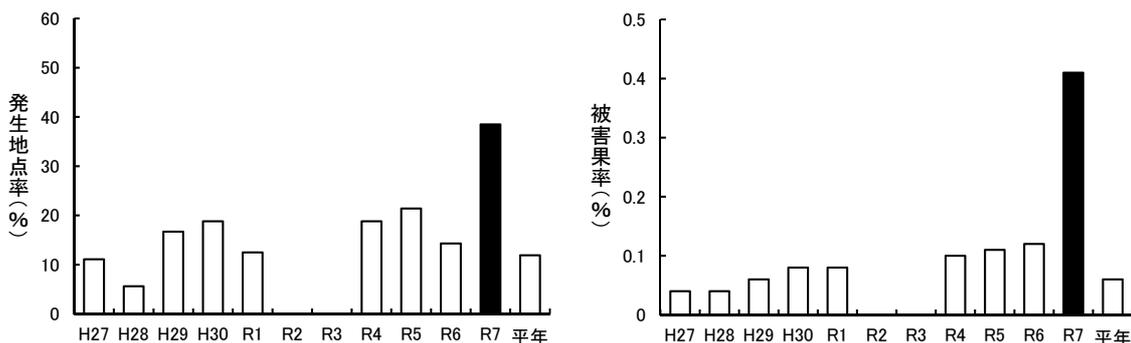


図1 果樹カメムシ類による被害果の発生地点率及び被害果率(りんご)
(病害虫防除所 7月下旬調査(平年:10か年平均))

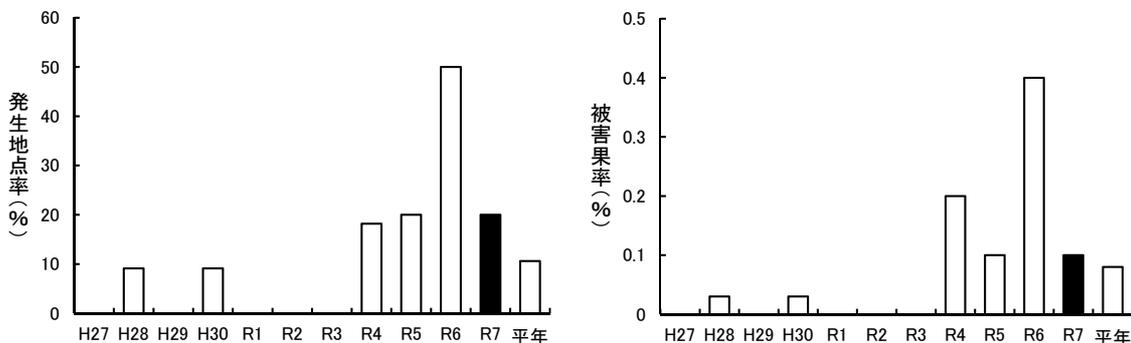


図2 果樹カメムシ類による被害果の発生地点率及び被害果率(なし)
(病害虫防除所 7月下旬調査(平年:10か年平均))

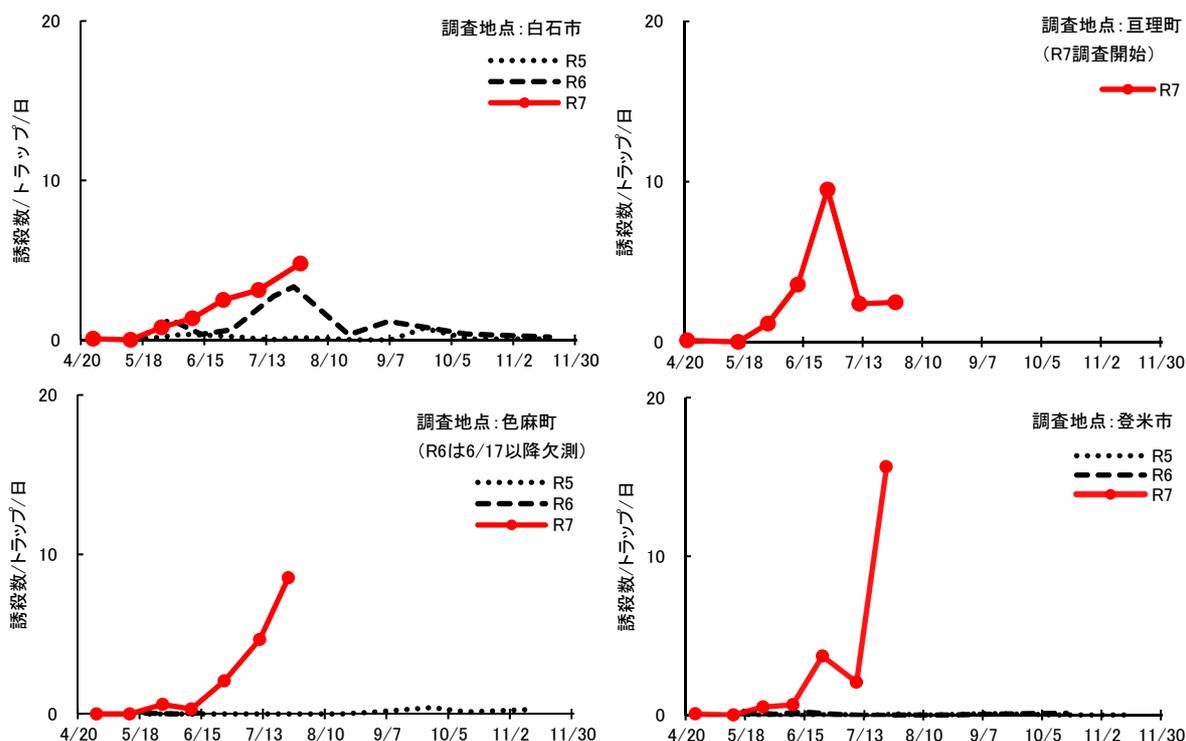


図3 令和7年度 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺状況

2 防除のポイント

- (1) 果樹カメムシ類の活動には高温が好適である。向こう1か月は平均気温が高いと予報されており、ほ場への飛来が多くなると予想される。ほ場をこまめに見回り、果樹カメムシ類がみられた場合は速やかに薬剤防除を行う。
- (2) 果樹カメムシ類は、春季から秋季まで長期間にわたってほ場に飛来する。
- (3) スギやヒノキ林に近接するほ場では、被害を受けやすいので注意する。
- (4) 果樹カメムシ類は、りんごやなし以外の果実も加害するので注意する。
- (5) 有袋栽培では、果実の肥大によって袋に密着すると袋の上から吸汁されることがあるので注意する。
- (6) 県内の果樹病害虫防除暦の多くで夏季に採用されているジアミド系殺虫剤及びスピノシン系殺虫剤は、一部製品を除いて果樹カメムシ類に適用がないので、薬剤選択の際は注意する。
- (7) 品種による収穫期の早晩を考慮し、収穫前日数に注意して薬剤を選定する。
- (8) 薬剤については、『宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』を参考に選定する。
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/boujosisinn.html>
- (9) 果樹カメムシ類フェロモントラップ調査結果
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/trap.html>

農業危害防止運動実施中！

《お問い合わせ先》
 宮城県病害虫防除所
 〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
 TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429
 E-mail: byogai@pref.miyagi.lg.jp
 ★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』で発生予察情報の発表をお知らせしています★



宮城県病害虫防除所
トップページ



メルマガ
登録フォーム